

大和工芸

ディスプレイ提案加速

試作やトレンド勉強会

ディスプレイなどの企画・設計・施工を手がける大和工芸（本社名古屋市中川区押元町1の87、市橋雅之社長、電話052・361・5561）は、提案能力のレベルアップを図る。ディスプレイの試作や最新トレンドを学習する勉強会といった営業力につながる取り組みを強化する。不況のおおりで業界内の競争が激化していくなか、高い提案力で受注機会を増やす考えだ。

（江口亮）

「製造」持つ強み生かす

同社は、展示会用のディスプレイ制作企画や、「繁盛をデザインする」というキャッチフレーズを持つ「店舗カンパニー」ブランドで店舗レイアウトの設計施工を手掛けている。



市橋雅之社長

自社内に製造部門を持つ強みを生かした顧客への提案力を強化する。試作のディスプレイを制作することで、図面と完成イメージとのギャップを減らすことができる。

発注企業側のコスト削減や最適パフォーマンスが見込める演出手法を模索する動きが活発化するなかで、他社との差別化を図る。また、大型展示イベ

ントに従業員を派遣してディスプレイのデザインや使用されている素材について調査。

「リサーチ報告会」という場を月に一度設けて、調査結果を営業職員にフィードバックしている。

ディスプレイ業界は、トレンドの動きも激しく、集客力に結び付く独創性が求められる。最新の情報をデザイナーだけでなく、営

業職員も知識として吸収することで、多様化する顧客の要望に対応する能力を身につけるのが狙い。

市橋社長は「当社はデザインの設計だけでなく、製造部門を持つている。企画製造といった一貫体制を持つ強みを生かした営業戦略を強化していきたい」と話している。

同社は、従来からISO14001を取得するなど環境面に配慮した取り組みを強化している。今後、さらに



大和工芸社屋のエントランス

環境対応企業としても「方針だ。PR活動を行っていく」